

## 第1回信州伝統大工養成セミナー

# 伝統構法の継承と新たな時代のひとづくり

## 「信州職人学校・伝統大工コース」のスタートにむけて

県内の建設職人2万人を組織する長野県建設労連では、先人たちが蓄積して来た伝統大工の技や智恵を引継ぎ、未来へと発展させて行くために、長野県や内外関係者とタイアップしながら、中堅大工を対象とした「信州職人学校・伝統大工コース」を、この6月からスタートすることになりました。

このコースは、信州の歴史と風土を踏まえ、伝統的技量の向上を図るとともに、現代の多様なニーズの中で新たな仕事分野を開拓しうる能力の育成をめざすもので、毎週土曜日、半年間の訓練を行います。経験に応じ、「基礎コース」と「応用コース」を設け、今年度は基礎コースから始めます。各コース修了者には、県認定による「信州伝統大工技能評価試験」を実施し、合格者は、「信州伝統大工」(2級、1級)の称号が与えられ、将来への活躍の基盤が形成できます。

もとより、この事業は、多くの受講生の参加や、修了後の活躍の場なしに成り立たないもので、何より受講生を送り出す事業主の仕事の開拓や確保が最重要になります。

本セミナーでは、コースの説明とともに、伝統木造を取り入れながら意欲的に仕事を開拓・実践中のお二人の講師をお招きし、先人たちの智恵や技をどう捉え、どのように仕事を開拓して来られたか、どのように人を育てて来られたか、本事業に期待することなど、様々な課題について、講演とパネルディスカッションを通して、ともに考えて行きたいと考えます。

伝統建築や伝統技能のゆくえにご関心をお持ちの方や、仕事の開拓や受講生の送り出しに意欲をお持ちの方々、さらなる技の上達をめざしている若者、先人が残した多くの民家や古建築、文化遺産の活用や再生に関心をお持ちの一般市民など、多くの方々のふるってのご参加をお待ちしています。



(増田) 大洲城(ものづくり日本大賞) 大分県小学校体育館/構造模型



(上野) 四季薫る家



合掌ハット

期 日：2009年3月27日(金) 13:00~17:00

会 場：「長野県松本技術専門校・ふれあい技能センター」

松本市寿北7-16-1、TEL 0263-58-3158

主 催：長野県建設労働組合連合会(長野県建設労連)

参加費：無料(事前申込が必要)

定 員：100名(定員になり次第締切)

プログラム :

13 : 00 開会、主催者挨拶

13 : 05【基調報告】「信州伝統建築技能継承事業」の概要と「信州職人学校伝統大工コース」の募集案内  
牛山 一榮氏（信州伝統建築技能継承事業運営委員会 委員長）

13 : 30【講演 1】「伝統木構法が切り開く未来」

増田 一眞氏（株増田建築構造事務所代表、NPO 伝統木構造の会会長）

伝統木構法の第一人者として、各地へ新伝統木構法セミナーを精力的に展開中の氏の長年の実践を通して、先人が担った伝統建築の技や智恵を引き継ぐことの意義、戦後木造法規制の問題点、未来への展開方法、全国の工務店や設計者のうねりなどの話をまじえながら、信念にもとづく仕事の開拓法、職人技の現代への生かし方、本コースがめざすべき方向などを多面的に語っていただき、伝統構法に取り組む工務店や設計者に熱いメッセージを送る。

〔1934 広島県生まれ。1958 東京工大卒、1964 年事務所設立。2005 年 NPO を立ち上げ、伝統木構法の普及にむけた活動を展開中。主な作品：天竜原木センター、金沢城菱櫓復元、大洲城天守閣復元など。「ものづくり日本大賞・総理大臣賞」、「松井源吾賞」受賞。著書：「新伝統木構法の展開」、「甦る住文化」、「建築構法の変革」、「数式のない構造力学」など。〕



14 : 30【講演 2】「伝統の技を現代に生かす魅力ある家づくり」

上野 英二氏（オークヴィレッジ木造建築研究所 代表）

従来の工務店や設計事務所の形態にこだわらず、社会に広く「木の文化」を普及するために、設計から施工まで一貫して手掛ける立場から、伝統的建築にこだわる意義を語っていただく。「100 年かかって育った木は 100 年使えるモノに」をモットーに、木組みの家の魅力、家づくりの事例や設計者や職人の関わり方、今後のひとつづくりの方法などを、自らの実践をまじえて関係者に熱いエールを送る。

〔1959 岐阜県生まれ、愛知工大卒、1985～オークヴィレッジにて活動。同研究所は、オークヴィレッジの理念の一つ『お椀から建物まで』の普及にむけ、「建物」を中心に活動。伝統的な木造建築をベースに魅力ある空間づくりを目指し、設計から施工まで一貫して手掛ける。設計、施工管理、大工、家具・材料など、21 名のスタッフで運営。〕



15 : 40【パネルディスカッション】「信州職人学校伝統大工コースは何をめざすか」

司会：秋山 恒夫氏（信州伝統建築技能継承事業運営委員会コーディネーター、  
職業能力開発総合大学校東京校 元教授）

上記 2 人の講師をパネリストに迎え、これからの地域の工務店のあり方や仕事の開拓法、新たな職人の育成法、コースがめざすべき方向、修了後に期待すること、支援体制やネットの形成法などについて、会場をまじえて幅広く討議を行なう。

〔1947 兵庫県生まれ、横国大卒・東大大学院修了、原広司研究室・菊竹清訓建築設計事務所にて設計修業、1981～現・東京校にて教鞭、同校キャンパスの全面再開を約 10 年をかけて実現。「東京建築カレッジ」、「ものづくり大学」等の立ち上げに協力。(社)日本建築学会、(社)実践教育協会、NPO 伝統木構造の会等を通し、ものづくり教育や伝統木造の普及に取り組み中。〕



16 : 40【説明】建設教育訓練助成金の説明

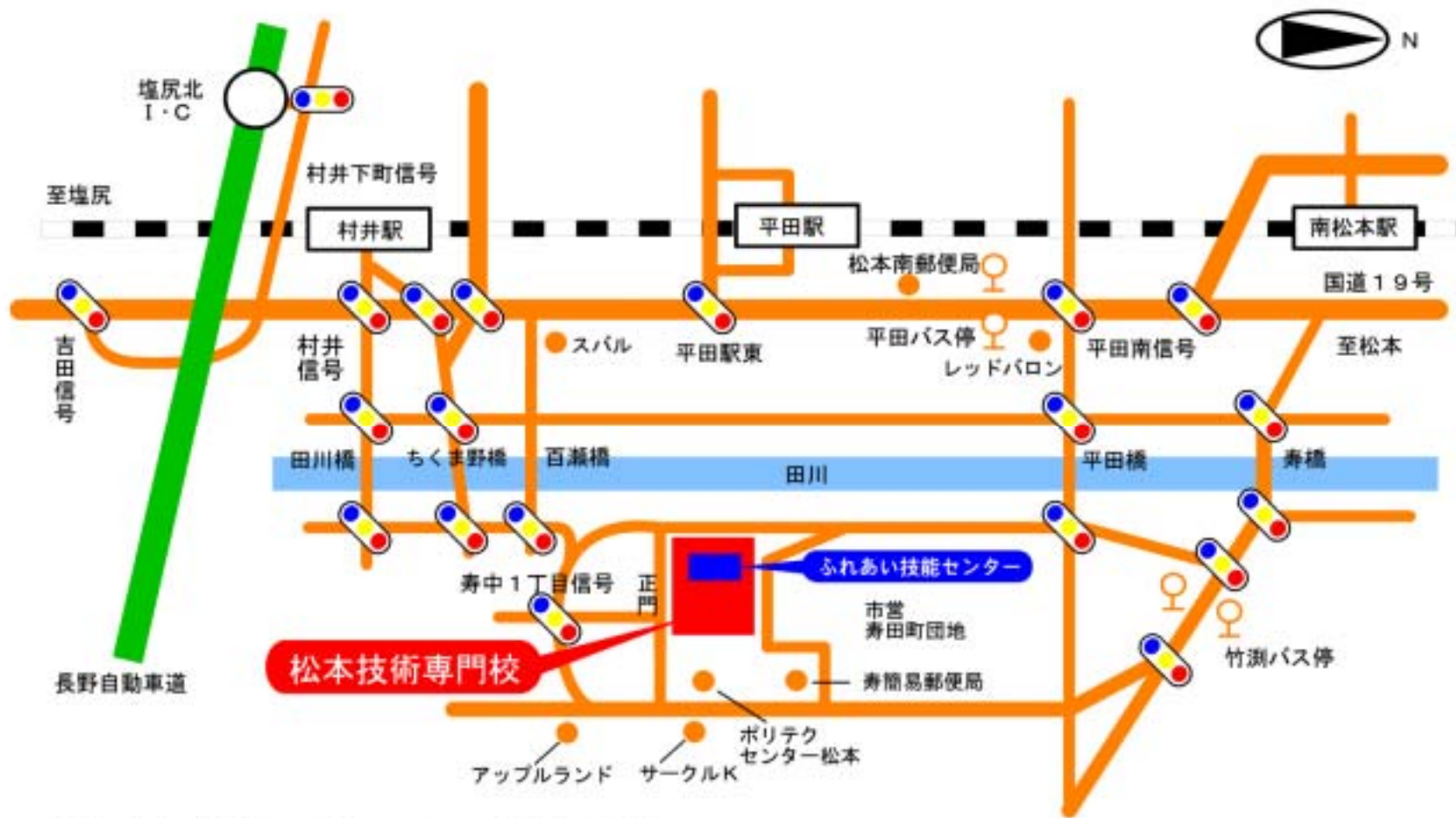
独立行政法人雇用・能力開発機構 担当者

17 : 00 閉会

申込み方法：別紙申込用紙にご記入の上、3月24日(火)までに、FAXにてお申込み下さい。(先着順)

〒390-0864 長野県松本市宮淵本村 1-2 建労会館内

長野県建設労働組合連合会 (担当：宮川、矢ヶ崎)



- ・長野自動車道 塩尻北 I・C より 4.0 km 自動車 10分
- ・JR平田駅より 1.6 km 徒歩 20分

FAX 0263-39-7202

長野県建設労働組合連合会 / 伝統建築技能継承事業運営委員会宛  
担当 / 宮川、矢ヶ崎

## 第1回信州伝統大工養成セミナー 申込用紙

申込者氏名		
組合名 <small>&lt;組合に所属していれば記入&gt;</small>		
連絡先	事業所名	
	住所	〒
	TEL	
	FAX	
要望など		